

2023年2月21日

国立大学法人金沢大学
学長 和田 隆志 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 小林 信介

泉学寮廃止に伴う入居学生への対応についての要望

泉学寮廃止に伴う入居学生への対応について、以下の通り要望します。

記

1. 入居学生と学長との懇談の場を設け、学生の要望を傾聴した上で要望に真摯に回答すること。

(趣旨)

学生からの要望に対して大学は文書回答をされたようですが、学生たちは回答の内容および回答の姿勢に納得せずに運動を続けています。学生によると、大学の回答は寮廃止の結論ありきで、検討の経緯や廃止の理由について丁寧な説明がなく、入居学生の思いに寄り添う姿勢も見られません。仮に大学の経営上の理由等の諸般の事情から寮の廃止が真にやむを得ない場合でも、廃止の結論に至る検討の経緯や廃止の理由について、学生に丁寧に説明し、理解を得る努力をするべきです。それは高等教育を担う公的セクターである大学の責任であると考えます。

また国立大学の存在意義の一つが、親の所得に関係なく等しく高等教育を受けることができる環境を社会に提供することであることは広く共有されています。したがって、仮に寮を廃止するとしても、それに代わる相応の救済措置も必要であると考えます。

学生は合理的な要望をしているにもかかわらず、大学側の対応が不誠実であるために運動を継続せざるを得ず、仮に運動を担う学生の学業が疎かになれば指導や相談を受ける教員の負担は増しますし、加えて、大学が学生への誠実な対応を怠り金沢大学の社会的信用が失墜するようなことがあれば、私たち教職員は胸を張って働くことが出来なくなりますから労働環境と無縁ではありません。

教職員組合としても現状を看過できず、要望書を提出する次第です。学生の要望について誠実にご対応くださるようお願い申し上げます。

以上